「医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名:東北医科薬科大学病院

研究機関名:東北医科 <u>第</u>	
受付番号	2022-2-024
倫理審査(初回審査)	2022年8月31日
研究課題名	便潜血測定装置 OC センサーCeres を用いた OC-カルプロテクチン '栄研'の基礎的性能評価
研究の対象	臨床研究審査委員会承認後、病院長研究実施許可日 ~ 2023 年 12 月 31 日までの間に当院で臨床判断のために便培養検査においてスワブ (綿棒)ではなく、便自体を検体として検査した全診療科(外来・入院問わず)の患者を対象とします(検査後の残便を使用)。 ・便自体を検体として提出して検査した方で、採便容器に採取できる十分な便量がある方(残余検体使用) また、検体量が1gに満たない方、水様便の方、その他に研究責任者の
	判断により対象として不適当と判断された方は対象から除外されます。
研究の目的・方法	【研究の背景・意義・目的】 糞便中のカルプロテクチン量を測定することは、炎症性腸疾患(IBD)の 病態を把握するうえで大きな意義があります。IBD 患者の病態を糞便中 カルプロテクチン量より把握することは頻回の内視鏡検査を減らすこと に繋がり患者負担の低減が実現できます。今回新しく開発された便潜血 測定装置 OC センサーCeres を用いた 「OC-カルプロテクチン '栄研'」の基本的性能及び既存装置及び試薬との相関性について検討し、糞 便中カルプロテクチン検査の実診療への有用性について評価することは 診療の向上のために重要な行為です。また、その遂行のためには臨床検 体を用いた評価検討が必須であり、その結果を学会・論文等で発表する ことは、施設間の情報共有のために意義があると考えられます。 今回、新しく開発された便潜血測定装置 OC センサーCeres を用いた 「OC-カルプロテクチン '栄研'」の基本的性能評価及び既存装置及び試 薬との相関性を検討し、糞便中カルプロテクチン検査の実診療への有用 性について評価することを研究の目的とします。 【方法】 ①相関性試験 1) 残余検体(便)を抽出します。 2) 匿名化します。 3) 被験試薬間の相関性を比較します。 対照: FEIA 法(サーモフィッシャー社)

検 体 数 : 100 例以上(300μg/g 未満:70 例以上、300μg/g 以 上:30 例以上)残余便検体使用

4)終了後 -20℃以下にて検体を保存します。

②基礎的性能評価検討

- 1) 専用のヘモグロビン溶液を調整します。
- 2) 上記 1) を用いて「以下 1~6の検討内容」を検討します。
- ① 精確性試験(同時再現性、日内再現性、日差再現性) 試験方法(1):

QC-カルプロテクチン-L(約 250 μ g/g)(QC-FC-L)、QC-カルプロテクチン H (約 500 μ g/g)(QC-FC-H)および QC-FC-Lを OC-FC 用希釈液で 2 倍 希釈した試料(約 125 μ g/g)(OC-FC-N)をそれぞれ複数回 FC 測定 (n=20) し、平均値、標準偏差(SD)から変動係数(CV%)を算出して同時再現性を確認します。

試験方法 (2):

QC-FC-L、QC-FC-H および QC-FC-N を FC の 2 重測定×1 日 2 回を 10 日間行い、平均値、SD から CV%を算出します。なお、測定時期は午前中(8~12 時)および午後(13~17 時)とし、2 時間以上の間隔を空けます。参考)

- ・QC-FC-Lの2倍希釈液は、調整後、QC-FCL、QC-FC-Hとともに冷蔵保存します。冷蔵保存により必要な期間「(休日を除く)10日間」は十分安定です。
- ・同時再現性(n=20)の測定は、サンプルカップ 2 個(Ceres: 300 µL)に分注し、それぞれリプリ数 10 で測定できます。

② 直線性試験

試験方法:

OC-FC 用検討試料の直線性試料(2,720 μ g/g)を OC-FC 用希釈液で下表 のように 10 段階希釈し、それぞれ FC を 2 重測定して希釈直線性を確認します。

各濃度をサンプルカップに 300µL 分注し、リプリ数 3 で測定します。

③ プロゾーン試験

試験方法:

OC-FC 用検討試料のプロゾーン試料(約 50,000 µg/g)を OC-FC 用希釈 液で下表のように倍々希釈し、それぞれ FC を 1 重測定します 各々サンプルカップに 200µL 分注し 1 重測定にて確認します。(リプリ数 1 で測定)

4 キャリーオーバー試験

試験方法:

上記 ③ と同様に OC-FC 用検討試料のプロゾーン試料(約 50,000 μ g/g)を調製し、『 約 50,000 μ g/g - OC-FC 用希釈液 - OC-FC 用希釈液 』を 1 セットとして 3 セット(9 試料)並べて、それぞれ FC を 1 重測定します。 各々サンプルカップに 200 μ L 分注します。

⑤ 検出限界

試験方法:

OC-FC 用検討試料の検出限界試料(85 µg/g)を OC-FC 用希釈液にて下表の要領にて希釈系列を作成。作成した資料を試験管で冷蔵保存します。測定日毎にサンプルカップへ分注します。

※日本臨床化学会の定量測定法のバリデーション算出用プログラムを用いて、ブランク試料の測定結果からLOB(ブランク上限)を、各濃度試料の測定結果からLOD(検出限界)、LOQ(定量限界)を計算します。

【実施方法】

- (1)希釈液(0µg/g)をサンプルカップ 2 個に 300µL 分注。リプリ数 6 で測定。5 日間測定します。
- 1 濃度×12 重×5 日間=60 テスト
- (2)各試料(8~43µg/g)をサンプルカップに 200µL 分注。午前と午後に同一サンプルカップにて 1 重測定。5 日間測定します。
- 5 濃度×2 回×5 日間=50 テスト

⑥ 自動希釈精度

試験方法:

上記③と同様に OC-FC 用検討試料のプロゾーン試料(50,000 μ g/g)を検体 希釈液にて 1/10(約 5,000 μ g/g:試料 A)および原液(50,000 μ g/g:試料 B)に調製します。 試料 A を用いて \times 10, \times 20 の Hb の自動希釈測定を、 試料 B を用いて \times 100, \times 200, \times 400 の Hb の自動希釈測定をそれぞれ連続して 5 回行います。

3) 測定および解析は東北医科薬科大学病院検査部で実施します。

【研究実施期間】

臨床研究審査委員会承認及び研究実施許可日から2024年12月31日

調査データ該当期間

臨床研究審查委員会承認後、病院長研究実施許可日 \sim 2023 年 12 月 31 日

研究に用いる試料・情報の種類

試料:便(専用容器に採取された便培養検査の残余)

情報:性別、年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、現病 歴、前治療の有無、測定していた場合は CRP 値 ⇒以上全て電子カルテより確認します。 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

お問い合わせ先

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者 さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんの で、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益 が生じることはありません。

【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】

東北医科薬科大学病院

検査部・検体検査室長・小堺利恵

022-259-1221(代)

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先:上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- <個人情報保護法第21条>
- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。 診療情報に関する 保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/privacy_policy.html

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- <個人情報保護法第33条>
- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合